

# 「歴史と文化とともに『つながり』『ひろがる』まち すかがわ」へ

## — 歴史・文化を守り伝え、これらを生かしたまちづくり —

文化振興課 ☎(94)2152

### 特性を現すキーワード

- 俳諧文化をつなぐ人々(相楽等躬、藤井晋流、二階堂桃祖、石井雨考、市原多代女、道山社山、矢部楯郎、桔樟吟社)
- 「ひと」と「ひと」の結びつきを支えた「くらし」(須賀川郷学所、橋本伝右衛門など生産方、主要機関の設置)
- 芸術文化などの芽生えから発展へ(垂欧堂田善、須賀川絵のぼり、牡丹園、柳沼源太郎、首藤保之助、須田瑛中、円谷英二、金山富男、円谷幸吉)
- 人生をかけて社会に尽力した人々(根本弥左衛門、遠藤猪右衛門、江藤長俊、小林久敬、佐久間亀五郎、服部ケサ)

江戸時代の本市は、奥州街道と会津街道などの街道が交差する交通の要衝で、物資や人・情報の交流が盛んだったこともあり、人々のくらし向きや文化に高い関心を示す土壌が生まれてきました。

このため、松尾芭蕉と相楽等躬、松平定信と垂欧堂田善といった「ひと」と「ひと」の結びつきによって文化の黎明を迎え、今日では「俳句のまち」として定着しました。

また、本市出身の円谷英二監督が礎を築いた特殊撮影技術は国内外に大きな影響を与えています。



市指定有形文化財(絵)「新訂万国全図」・垂欧堂田善

「くらし」を織りなす「ひと」



国指定名勝「須賀川の牡丹園」



敷教第二舎(須賀川郷学所)の看板

本市は、古代から当地方における交通の要衝にあり、政治、経済、文化の中心として栄えた歴史あるまちです。

市内には数多くの遺跡や石造物などがあるほか、各地域で古くから伝承されている祭礼

や伝統行事を多く目にすることができ、これらは、本市に連綿と続いてきた歴史と文化の証であり、貴重な歴史・文化資源というべきものです。

今回の策定事業では、総合的に調査・分析を行い、本市の新たな魅力として、次の3つの歴史・文化の特性を発見することができました。

### 本市の新たな魅力

市では、歴史や文化を生かしたまちづくりを進めていくための長期ビジョンとして、「須賀川市歴史文化基本構想」を策定しました。市内各地域に存在する文化財などを「歴史・文化資源(II地域の宝)」と位置付け、地域に住む人々が誇りや愛着を持てるよう、これらの保存・活用に取り組みます。

## — 歴史・文化から見る3つの特性 —

### 特性を現すキーワード

- 大地と結びついた信仰(江持石、榊衝神社祭祀遺跡、板碑・石造三尊供養塔など石造文化)
- 各地に残る多くの古木や巨木
- 民話や昔話など、地域の人々の祈りや思いの継承
- 三匹獅子、田植踊り、きうり天王祭など地域独自の祭礼や伝統芸能の継承
- 寺社と庶民信仰との結びつき

本市には、自然豊かな田園地帯を背景に、伝承されてきた祭礼や年中行事、石造物が数多く残され、「さと」に息づく「いのり」ともいえるべき心が、大切に守り育てられています。

また、古くから人々は、江持石など、須賀川の大地を構成する岩石や鉱物を利用してきました。

特に鎌倉時代以降は、二階堂氏をはじめとする東国武士の進出などにより、阿弥陀信仰が市全域に広まると、磨崖仏や阿弥陀三尊供養塔など市内各地に多くの石仏や板碑が造られ、本市の石造文化の特徴を表すものとなっています。



県指定重要無形文化財「古寺山自奉楽」

「さと」に息づく「いのり」

### 特性を現すキーワード

- 東山道と石背国の成立(上人壇廃寺跡、栄町遺跡(石背郡衙)の設置)
- 奥大道と武士の進出(二階堂氏による領地支配、宇津峰、稲村御所、愛宕山城、須賀川城、長沼城)
- 街道と町人によるまちづくり(奥州街道、会津街道、須賀川町会所、住民自治、須賀川産馬会社、県立須賀川病院)
- 用水と産業の発展(前田川発電所、葉たばこ、製糸業)
- 高速交通網の整備とまちづくり(国道4号、東北縦貫自動車道、福島空港)

本市は、古代から現代に至るまで、「みち」との関わりがなかで、城下町や宿場町など、政治経済の拠点を作りながら、「まちづくり」を進めてきました。

奈良時代には、東山道(推定)の沿線に陸奥国石背郡の役所である石背郡衙(栄町遺跡)やそれに関連する寺院(上人壇廃寺跡)が、室町時代には、奥大道から会津街道に至る沿線に足利氏の奥州での拠点となった稲村御所が置かれました。また、江戸時代には奥州街道沿いに置かれた須賀川宿が繁栄し、現在も須賀川宿があった地区を中心に市街地が形成されています。



国指定史跡「上人壇廃寺跡」

「みち」から広がる「まちづくり」



県指定史跡「石造阿弥陀三尊来迎供養塔」(畑田)





観光誘客のために行った「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」(3月3日)。今年も10月6日に行います

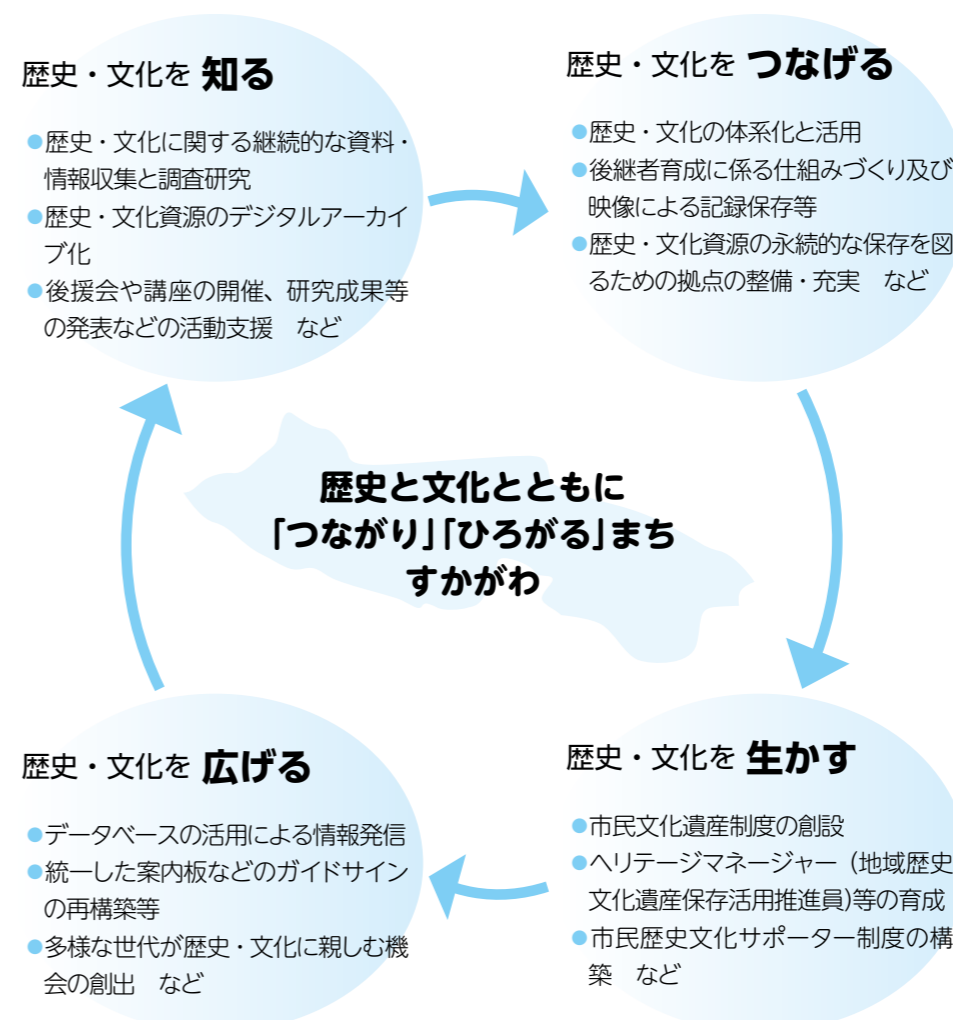
## 歴史・文化を生かしたまちづくり

歴史や文化を生かしたまちづくりを進めていくには、歴史や文化に関心を持ち、知ることが重要です。「ひと」と「ひと」との関係性

### ●図1 基本理念・基本方針

- 基本理念  
歴史と文化とともに「つながり」「ひろがる」まち すかがわ
- 基本方針
  - 「大切にしたいもの」「大切にしたいこと」を守り育てる心の醸成
  - 歴史・文化を生かしたまちづくりの仕組みの構築
  - 適切な保存・活用に向けた体制整備と連携の推進

### ●図2 歴史・文化の適切な保存・活用を推進するための各種施策



の構築や、地域コミュニティの醸成などにつながり、結びついていくことを実感していく必要があります。また、「地域の宝」である歴史・文化資源を生かしながら、その価値をより多くの人々と共有・共感し、広がりを持つた取り組みを進めていくこと

が必要で。このため、基本理念を「歴史と文化とともに『つながり』『ひろがる』まち すかがわ」とし、3つの基本方針を設定しました(図1)。

さらに、基本理念と基本方針の実現に向け、「知る」「つなげる」「生かす」「広げる」をキーワードに各種施策を定めました(図2)。

## 市民の皆さんと共に市の歴史・文化を育んでいきます

市民、地域、行政が、生まれてきた土地に誇りと愛着を持つことの意義を伝え、その価値を共有し、手を携えて歴史や文化の保存・活用に取り組むことは、子どもたちが生き抜く源泉になるものと考えます。

これからも、心と心、手と手をつなぎ、歴史や文化を守り伝えるとともに、これらを生かしながらまちづくりへ広げていきましょう。



市指定史跡「長沼城址」

## ■平成30年度予算の執行状況

# 限られた財源を 適正で効率的に執行

企画財政課(88)9121

「地方自治法」や市の「財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき、平成30年度的一般会計や特別会計予算の執行状況についてお知らせします。

## 昨年4月から 第8次総合計画がスタート

平成30年度は、第8次総合計画の初年度であり、市の将来都市像である、「選ばれるまちへ」とも歩む自治都市すかがわの実現を目指して各種事業を行いました。

主なものは、市民交流センターの整備、公立の小・中学校、幼稚園、保育所、こども園、児童クラブ館のトイレ洋式化、5歳児の保育料と幼稚園授業料の無償化、災害時に備えた緊急貯水槽の設置、農産物などの地域ブランドのPRなどです。

予算の執行状況は表1、地方債の状況は表2、市民1人(1世帯)当たりの負担とサービスは表3のとおりです。

●表1 平成30年度予算の執行状況 (平成31年3月31日現在)

会計区分	予算額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
<b>一般会計</b>	<b>491億1,866万円</b>	<b>383億9,279万円</b>	<b>78.2%</b>	<b>326億1,185万円</b>	<b>66.4%</b>
特別会計					
県中都市計画事業山寺土地区画整理事業	1,237万円	24万円	1.9%	1,215万円	98.2%
市営墓地事業	3,851万円	3,796万円	98.6%	3,290万円	85.4%
下水道事業	21億9,502万円	8億1,465万円	37.1%	17億7,187万円	80.7%
農業集落排水事業	7億8,418万円	1億8,989万円	24.2%	6億8,641万円	87.5%
特定地域戸別合併処理浄化槽整備事業	627万円	263万円	41.9%	563万円	89.8%
中宿財産区	516万円	539万円	104.5%	367万円	71.1%
小塩江財産区	613万円	1,157万円	188.7%	444万円	72.4%
西袋財産区	1,384万円	1,246万円	90.0%	909万円	65.7%
長沼財産区	541万円	554万円	102.4%	20万円	3.7%
国民健康保険	83億 237万円	74億 58万円	89.1%	68億1,769万円	82.1%
介護保険	68億1,770万円	56億6,988万円	83.2%	60億8,835万円	89.3%
後期高齢者医療	7億4,124万円	4億8,144万円	65.0%	7億 193万円	94.7%
勢至堂簡易水道事業	5,276万円	63万円	1.2%	2,526万円	47.9%
水道事業会計					
収益的収支					
収入	18億 131万円	16億7,898万円	93.2%		
支出	16億7,874万円			6億9,696万円	41.5%
資本的収支					
収入	10億1,923万円	9億8,477万円	96.6%		
支出	17億6,819万円			6億 11万円	33.9%

※予算額には、平成29年度からの繰越額を含みます。

●表2 地方債の状況 (平成31年3月31日現在)

会計区分	残高
<b>一般会計</b>	<b>342億9,044万円</b>
特別会計	
下水道事業	97億2,666万円
農業集落排水事業	49億6,028万円
特定地域戸別合併処理浄化槽整備事業	1,205万円
勢至堂簡易水道事業	8,483万円
水道事業会計	63億2,206万円

●表3 市民1人(1世帯)当たりの負担とサービス (平成31年3月31日現在)

区分	市税の負担	市民サービス
1人当たり	119,410円	426,444円
1世帯当たり	311,706円	1,113,184円

人口：76,474人、世帯数：29,296世帯 (平成31年3月31日現在の住民基本台帳による)

これらの中には、収入率や支出率の低いものもあります。その主な理由は、事業の繰り越しや、平成30年度の出

納閉鎖日(5月31日)までに収入や支出が予定されているものなどがあるためです。今回の収入・支出の金額は、

平成31年3月31日現在のものであり、最終的な決算の内容などは、広報すかがわ11月号でお知らせする予定です。